

事業計画書

事業名	食農体験プロジェクト
実施場所	食育スタジオ Dreamy(沼津市大岡)
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2年 4月 1日 ~ 3年 2月 28日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

農業体験会①定植作業、種まき、苗の植え付け

②かん水、除草、消毒

調理体験会 野菜の収穫、調理、試食

以上の内容を1クールとし、3~6歳の親子を対象に、2回ずつ同じ内容で、6組を春と秋の2ツールにわたり行う。(農業体験会8回、調理体験会4回、全24組)

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

植物がどのように育ち、食べられるようになるのか、その過程を知ることで命の育みや食べ物大切さを感じることができる。自分で育てた野菜を収穫し調理までを通して体験することで、食べ物の背景を感じながら感謝して食べる気持ちが生まれ、情緒豊かな子供に成長する。

農業体験を通じて、生産者が日頃身をもって経験していることを参加者へ伝え、参加者が現場で感じることで、農業や食への関心、理解を深め生産者と参加者の交流を深める。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
2020年4月~	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>野菜を育て、収穫し、それを調理して実食することで、地産地消の大切さを伝え、食べ物を大事に残さず食べる心を育む。</p> <p>農業体験会では定植作業を行う。耕耘機をかける前後で畑の土を歩き、土の柔らかさの違いを感じてもらう。かん水や除草をしながら野菜を育て、農業の役割について理解してもらう。収穫後は、翌年の準備のために野菜の葉や茎などを畑にすき込む作業をすることで、土が循環していることを伝える。調理体験会で収穫したての野菜を活用した調理体験する。</p> <p>事業進行のためのスタッフ会議(スタッフ5名) 場所:食育スタジオ Dreamy HPにて参加者の募集 夏野菜の苗作り・植え付けのための準備(スタッフ1名)</p>

5月	夏野菜の植え付け（スタッフ3名×2日間） 一般参加者（親子6組×2回） 植え付け後の水やり、追肥、管理（スタッフ1名）
6月	草取り、苗の生育状況の確認（スタッフ3名） 植え付けに参加した親子12組
7月	収穫、調理、試食（2日間） 参加者6組 収穫補助スタッフ3名 調理 栄養士1名 アシスタント2名 } ×2回
8月	冬野菜の苗作り・植え付けのための準備（スタッフ1名）
9月	冬野菜の植え付け（スタッフ3名×2日間） 一般参加者（親子6組×2回） 植え付け後の水やり、追肥、管理（スタッフ1名）
10月	草取り、苗の生育状況の確認（スタッフ3名） 植え付けに参加した親子12組
12月	収穫、調理、試食（2日間） 参加者6組 収穫補助スタッフ3名 調理 栄養士1名 アシスタント2名 } ×2回
<p>実施場所：食育スタジオ Dreamy 沼津市大岡362 対象者：親子で参加できる市内在住の3～6歳の親子24組 人員配置：随時管理スタッフ1名、栽培補助スタッフ2名 栄養士1名、調理アシスタント2名</p>	

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

参加者の食への関心を深め、感謝の気持ちや野菜を好きになる気持ちを育む。
生産者と参加者（消費者）をつなぎ、地産地消を推進する。
子育て応援プロジェクトの対象だった0～2歳の親子から、対象年齢を3～6歳と幅を広げる
ことにより、子育て世代の継続支援を実現し、沼津市の子育て世代の人口増加が期待できる。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。
	地元の食材を手に入る機会が増えた。(100%) 食べられる野菜が増えた。(100%)		事業開始時と終了時にアンケート調査を実施する。

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 農業や調理の体験を通じて、子どもたちの食への関心を深める。沼津の農作物が育ちやすい豊かな気候や農業の魅力を感じ、地元への関心を高める。 若い世代で調理力の低下が問題視されており、子どもの時期より調理に携わることで、調理力の向上をはかる。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 農業後継者が減少する現在、農業を体験したことがない子どもが生産者との交流や収穫物の調理により、農業や食への関心を深める。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 農業体験～調理まで同じ敷地内で実施することができる。 農業体験という収穫体験が主になりがちだが、本事業では定植作業や土づくりも体験することで、学びを深める。苗から育てた野菜を使用し、参加者自身が調理することで、食材を大切にすることを学び、調理力を身に着ける。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などにどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。 事業実施については「食育スタジオ Dreamy」のHPにて実施レポートを掲載しPRすることで、本事業をモデルとして、生産者と参加者（消費者）の交流の場が増えることを期待する。栽培する野菜の種類や量を徐々に増やし、当スタジオのイベントでも自家菜園で収穫した野菜を使用し、ワークショップやスタジオレッスンの開催数や参加者を増やしていく。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 既存のスタジオ及び自家菜園にて事業を実施するため、会場費を削減できる。 生産者がJA農業塾にて野菜の栽培について学んでいる。 農業は気象条件に左右されるため、体験会開催時に悪天候の場合は、スタッフが作業のフォローを行わなければならない。 参加者の体験用スペース以外でも、様々な野菜を栽培し、収穫時に野菜の種類や収穫量を十分に確保できるようにする必要がある。 調理体験講師は、収穫した野菜を活用できるレシピを開発し、おいしく食べる方法を参加者に指導する。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 昨年度まちづくりファンドにて移設リニューアルをした「食育スタジオ Dreamy」を活用する。昨年は、主に乳児～未就園児に特化した事業を展開し、参加者の定着があったため、本事業では幼児を対象とし、食への関心を深める年齢層を広げていきたい。温暖な気候に恵まれた沼津市で、野菜の栽培を通じ沼津市の魅力を感じながら、生産者や参加者同士の交流を深めていく拠点になるよう、当スタジオを活用していきたい。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

これまでの事業内容に、農業体験をプラスしたワークショップやイベントを引き続き開催し、参加者の幅を広げていきたい。年間を通して収穫できる野菜を栽培し、スタジオレッスンで活用できるようにしていきたい。市内の子育て世代の多くの方々が、気軽に足を運び農業体験や、ワークショップに参加できる企画を継続していきたい。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

3年間のまちづくりファンド採択事業を通し、企画したイベントは常に定員以上の申し込みがあり、参加者に大変好評だった。「食」の困りごとお助け隊で、相談やレッスンに関わった方々のお子さんが成長し、事業参加対象者の幅を広げたことで、継続支援ができています。

利用者が定着したことで、参加費の徴収を上げても、事業の継続が可能であることがわかった。参加希望者が多く、対応できなかった希望者に対しても、今後は対応していくことができる様、スタッフを増員し、開催回数をふやしていきたい。更に今後も新たな利用者を増やしていくために、様々なワークショップやイベントを企画し、母親同士が情報交換したりくつろぐことができる拠点となっていきたい。市内の子育て中の保護者が気軽に立ち寄り、育児の悩みや不安を軽減できる様、今後も継続支援をしていきたい。